

校訓：高く 明るく たくましく V o 1 . 2

# 学校だより

学校教育目標：志高く 心豊かに 自らを鍛える生徒

平成 30 年 5 月 1 日

狭山市立入間野中学校

校長 尾澤 栄一

## 地域に信頼される学校 地域の中の学校を目指して

「家庭で種を蒔き、学校で花が咲き、地域で実る」教育を

朝の陽をうけた校舎とともに校庭のけやきやメタセコイヤの新緑が目眩しい季節となりました。165名の新入生を迎えてスタートした30年度も順調な滑り出しをしています。

一年生も部活動がはじまり、いよいよ本格的に中学校生活が始まりました。また過日は、全校保護者会、部活動保護者会など多くの保護者の皆様にご参会をいただきありがとうございました。今年度も第二土曜日が学校公開となっています。生徒たちの様子をご覧いただき忌憚のないご意見をいただけたらと思います。

さて、先日、4月7日に北上自治会主催の桜まつりにご招待をうけて参加をしてきました。桜の木はすっかり葉桜となっていました。地域の方々や多くの来賓の方が訪れ、自治会館の庭も和やかな雰囲気で大盛況でした。自治会長 矢吹様、実行委員長の宮岡様をはじめ、日頃お世話になっています地域の方々との会話もはずみ、少ない時間での交流でしたが、改めて地域の方々のつながりと絆の強さを感じました。開会セレモニーの後の催しで、本校の卒業生による金管合奏の演奏がありました。

周辺の季節の花々とともに清々しい音楽が春空に響き渡るとともに堂々とした話と楽器を奏でる卒業生を見て、嬉しくもあり心洗われるひと時でした。教育は、家庭で種を蒔き、学校で花が咲き、地域で実るといわれます。学校を卒業し、社会に巣立った若者が、再び住み慣れた地域に帰り、地域のために貢献して実を結ぶ。こうしたことが地域を活性化させることでもあり、地道に取り組んできた教育の成果のひとつだと思います。昨今、地域に開かれた学校、地域の人材や資源を生かした教育が求められています。少子高齢化、人口の減少等の課題の克服は、学校と地域との関わり、地域の中の学校が解決の糸口にもなるのではないかと思います。本校の生徒が、やがて社会人となり、再び地域に戻り、地域に恩返しができることを願ってやみません。未来の狭山市、入曽地区の活性は、今の学校教育の成果だと心に留め、今年も地域から信頼される学校づくりを展開していきます。



本校ホームページをご覧ください。

[http://www.sayama-stm.ed.jp/h\\_irumano/index/](http://www.sayama-stm.ed.jp/h_irumano/index/)

学校だより、保健だより、生徒会活動、部活動の実績等、随時更新していきます。今年度は、各教科のシラバスも掲載予定をしています。

